

製品名: インスリン分解酵素マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM86155**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムと 50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:50-1:300,ICC 1:100-1:200
分子量	118kDa

抗原情報

遺伝子名	Insulin Degrading Enzyme
別名	Insulin Degrading Enzyme Mouse
遺伝子 ID	
SwissProt ID	P14735
免疫原	ヒトインスリン分解酵素/IDE の合成ペプチド

背景

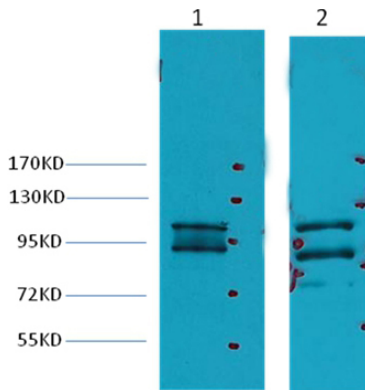
インスリン分解酵素 (IDE) は、M16A メタロプロテアーゼサブファミリーに属する大型の亜鉛結合プロテアーゼであり、配列が大きく異なる複数の短いポリペプチドを切断することが知られています。IDE は、インスリンホルモンの B 鎖を分解する能力によって初め

て同定されました。この活性は50年以上前に観察されましたが、B鎖の切断を特異的に担う酵素は最近になって同定されました。

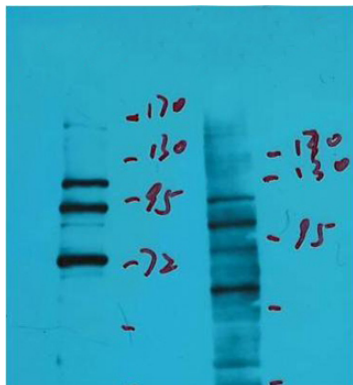
研究分野

-

画像データ



1:2,000 に希釈したインスリン分解酵素マウスモノクローナル抗体を使用した、1) HeLa、2) HepG2 のウエスタンブロット分析。



1:2,000 に希釈した AMM86155 を使用した HeLa、HepG2 のウエスタンブロット分析。